

水源地保全活動に参加して

今年度からアメンボクラブに登録して、水源地保全活動へは初めての参加です。目的地の岩屋ダム周辺は新緑に包まれていました。

上流域である下呂市役所や水資源機構の職員方々も参加されて共に保全活動の開始です。



まずは植樹から。ダム周辺の雑草地で、若木以外は大きな木が生えていない場所です。前年度以前に植えた若木も鹿の食害にあって枯れることも有るとのお話しでした。

レンギョウやヒイラギなどの広葉樹が用意されて、2、3名で一本の木を植えました。スコップで穴を掘り、肥料を入れた後に木を植え、水やりをして完了です。



 植樹の様子 

次は、2グループに分かれて、草取りと清掃や補修等の活動です。私達のグループは、近くにある卯野原神社の境内周辺で鎌を片手に雑草を抜き、ごみ袋に集めて終了です。

上下流域の行政と毎年の継続した活動により水源地と水が保全されているということを感じました。

(アメンボクラブ M.O)



 清掃の様子 